

岩美南小学校図書館 平成27年9月9日

1 年 K・I
読んだ本：『りゆうがあります』 作者：ヨシタケシンスケ
【感想】はなをほじるところが、おもしろかったです。はだかで見ているのが、おもしろかったです。ごはんをおとすばしょがおもしろかったです。
【家の人の感想】大人から見ると、お行儀悪いからやめて！と思うことでも、こどもの行動には理由があると思って見ると、おもしろいなあと感じました。こどもと一緒に話していても、笑いながら読むことができました。



1 年 T・M
読んだ本：『まほうのじどうはんばいき』 作者：やまだともこ
【感想】この本をよんで、いちばんなんでもほしいものがでてくるじどうはんばいきが、わたしもほしいなっておもいました。でも、さいごはじどうはんばいきがなくなったけど、じぶんのためにはよかったとおもいました。
【家の人の感想】子どもにとって一番魅力的な自動販売機を、母親の“自動販売機に頼ってばかりではいけない。”という思いから消してしまい、男の子はとても悔しがっていましたが、その母親の思いを理解してくれると、少し成長できる本だなと思いました。

1 年 U・T
読んだ本：『お化けの海水浴』 作者：川端 誠
【感想】ようかいがでてきてたのしかったです。からかさおばけがひるねをしていたり、うみぼうずがでてきたり、たこにゆうどうがでてきて、おもしろかったです。
【家の人の感想】おばけやようかいが好きで何度も読みました。おばけがそれぞれ海水浴を楽しむ姿がとてもおもしろいです。

今年も夏休みを利用して“親子読書”をお願いしたところ、お忙しい中、それぞれのご家庭で工夫して取り組んでいただき、たくさんの感想が寄せられました。

読書を通して親子で有意義な時間が過ごせたことと思います。読書は豊かな感性を育み、言語力を高め、想像力を豊かにします。家庭でも読書の大切さを理解していただき、ありがとうございます。ここに一部ですが感想を紹介します。

2 年 T・M
読んだ本：『かえりたいかえりたくない』 作者：小納 弘
【感想】エリちゃんのおばあちゃんが入いんしてお母さんがびょうういんに行くので、家ではエリちゃん一人です。おばけやこわい男の人たちが出てきたらこわいから、早く家に帰りたいけど、こわいから帰れないので、エリちゃんがゆう気をもって、学校から家までがんばってあるいたのが、すごいと思いました。
【家の人の感想】学校からの帰り道は楽しいはずなのに、家に誰もいないから、帰りたいけど帰りたくない。その時の様子が、小犬でもいいから一緒にとか、押し売りのこわいおじさんが来たらどうしようとか、おばけが出たら・・・と、よく分かりました。



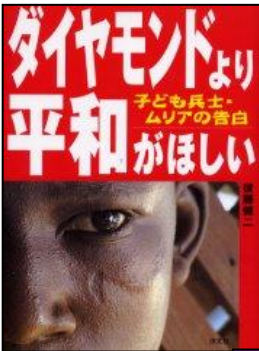
2 年 N・R
読んだ本：『絵で読む広島原爆』 作者：那須正幹
【感想】心にのこったことは、はじめは人が多くいたのに、ぱくだんがひろしまに一つおとされて、家などがもえて多くの人がなくなって、かなしいできごとだとおもいました。
【家の人の感想】広島原爆の様子がとてもくわしく絵に描かれていました。本当に悲しく許せない出来事です。わたし達は原爆や戦争のことを直接知りませんが、しっかりと学習して、決して忘れてはいけなと感じました。

3 年 N・K
読んだ本：『長くつ下のピッピ』 作者：アストリッド・リッダレーン
【感想】この本を読んで心に残ったことは、ピッピは毎日を楽しく強く生きていて、この本の話ではいやなことともたいへんなこともおこるのに、いろんな出来事をすべてピッピが楽しくかえてしまうから、ピッピはこんなにいきいき生きているんだなあと思いました。わたしもピッピのように、いやなことともたいへんなことも楽しくかえていきたいです。
【家の人の感想】自由奔放な女の子は周りの大人を振り回して顔をしかめられるけど、わたしは子どもらしくてこんな女の子がいてもいいなと思いました。

3 年 S・M
読んだ本：『名犬チロリ』 作者：大木 トオル
【感想】すて犬がセウピードッグになったのが、うれしかったです。いろんな所に行き、人々を笑顔にしたり、ゆう気をあげたりするチロリは、すて犬だったけどやさしい犬だなと思いました。この本を読んで、やっぱりいのちは大切だと思いました。
【家の人の感想】何回読んでも悲しく、心が温まる本です。今の時代、簡単に捨てたり殺したり・・・。
でもやっぱり、大切にすることって大切ですよね。子どもと一緒に読みながら、命あるものを大切にしようと話しました。

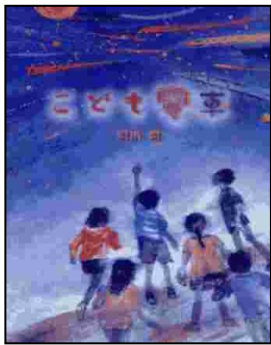


4 年 N・K
読んだ本：『ダイヤモンドより平和がほしい』 作者：後藤 健二
【感想】 ^{かんそう} ダイヤモンドの産地シエラレオネは、ダイヤモンドは国民のために使われていなくて、戦争のじゅうなどに使われています。ほかに平均寿命が男性が約 32.4 歳、女性が約 35.7 歳で戦争でこんなに寿命がへる世の中であっては大めだと思います。
【家の人の感想】 ^{いえ ひと かんそう} この本は、悲しい出来事で亡くなったジャーナリストの後藤健二さんの本でした。子どもは知らずに南小の図書館から借りたようです。後藤さんの伝えたかったことを、身近に感じよい機会を得ました。



4 年 N・S
読んだ本：『ハワード・カーター』 作者：西 公平
【感想】 ^{かんそう} 王名表から名前をけずられて実在を信じない人もいる中で、あきらめずにがんばっているところがすごいと思いました。見つけれたのは努力のおかげだと思うので、努力はやっぱり大事ななあと思いました。
【家の人の感想】 ^{いえ ひと かんそう} この本を読んで、強い意志を持って進んでいくことの大切さを感じました。今分かっている歴史もこういう人たちの努力や意志の上で発見されたと思うと、なんだかそれだけでロマンのある素敵な生活だと思いました。

5 年 T・N
読んだ本：『こども電車』 作者：岡田 潤
【感想】 ^{かんそう} 私は “こども電車ってどういう意味だろう” と思って借りました。私はこの本を読んで「クラスメートとの友情の大切さ」を学びました。クラスメートが病気で死にかけてしまった時、クラスメートの友情ではげまされ、もどることができたからです。
【家の人の感想】 ^{いえ ひと かんそう} 夜9時こども電車の最終電車が発車します。子ども達の夢や希望を運ぶ電車。子ども達の夢の数だけ電車がある。同じ電車にクラス全員が乗り、病気で苦しんでいるクラスメートのためにみんなが一つになる所が良かったです。

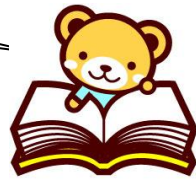


今日はチャレンジデー。
じっくり家読してみよう！

5 年 T・U
読んだ本：『エジソン』 作者：プロジェクト新・偉人伝
【感想】 ^{かんそう} ぼくはこのエジソンのような人になりたいです。理由は、エジソンのように何にでも挑戦し、分からないことや不思議なことを質問出来るようになります。いつもはマンガの方を読んでいますが、この本はマンガに書いていなかったことがくわしく書いてあったので、こうだったんだなと思いました。ぼくが一番すごいと思ったことは、小さな時から新聞売りをしていることです。
【家の人の感想】 ^{いえ ひと かんそう} つい子どもの「なぜ」「どうして」の質問に対してまじめに聞いていなかったです。この本を読んで、子どもから話を聞いてほしいと言われました。これからは落ち着いて聞いていきたいです。

5 年 N・R
読んだ本：『あこがれ仕事百科』 作者：NHKラジオ第一
【感想】 ^{かんそう} ぼくはこの本を読んでいろいろな仕事があって、その仕事をしている人の説明や 10 代からのメッセージが書いてあるから、分かりやすかったです。ぼくは、10 代からのメッセージを読んでみると、仕事をする勇気がわいてくるので、すごいなと思いました。おもしろかったし、役に立つ本でもありました。
【家の人の感想】 ^{いえ ひと かんそう} この本の中には私が知らない職業が紹介されていて、ふんふんと感じながら読んでしまいました。すぐすぐには、この仕事とは決められないと思いますが、これになりたいなあと夢を持って進んでいってほしいと思います。何か興味深い仕事が見つかったでしょうか。

6 年 H・A
読んだ本：『織田信長』 作者：加来 耕三
【感想】 ^{かんそう} 信長は子どもの時からはてんこうだったのが分かりました。信長は鉄砲と茶の湯に興味を持ち、文化面にも理解が深かったと知って、びっくりしました。
【家の人の感想】 ^{いえ ひと かんそう} 織田信長という人物は “独創性” に長けていて柔らかい頭を持っていたからこそ、天下もあと一歩のところまでたどり着いたのだと思う。



6 年 O・A
読んだ本：『魔法がくれた時間』 作者：ビニー・フォード
【感想】 ^{かんそう} メイさんがくれた魔法の薬のおかげで、おじいちゃんといろいろな所に遊びにいけるなんて、楽しそうだなと思いました。でも、最後には死んじゃったけど、私もメイさんにたのんで、いろいろしてみたいです。
【家の人の感想】 ^{いえ ひと かんそう} おじいちゃんと海や川へドライブへ行き、楽しい時間が過ごせてよかったですね。魔法がくれた楽しい時間、いい思い出ですね。